

グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)

運用報告書 (全体版)

第7期 (決算日 2022年7月20日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)」は、2022年7月20日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2015年8月31日から2025年7月22日までです。	
運用方針	主として、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型)	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

お知らせ

当ファンドは、2022年10月21日付で信託期間を10年更新し「2035年7月20日まで」に変更予定です。

<642851>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株式組入比率	純資産額		
	(分配落)	税込	み配金	期騰落	中率				
	円	円	円		%	%	百万円		
3期(2018年7月20日)	14,640		0		10.7	164.92	16.0	95.5	507,278
4期(2019年7月22日)	14,439		0	△	1.4	150.22	△ 8.9	95.5	367,730
5期(2020年7月20日)	17,607		0		21.9	179.16	19.3	94.9	293,792
6期(2021年7月20日)	23,982		0		36.2	255.83	42.8	97.2	337,817
7期(2022年7月20日)	23,644		0	△	1.4	242.71	△ 5.1	96.4	317,696

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2022年7月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数		株式組入比率
	騰落	率	(参考指数)	騰落率	
(期首) 2021年7月20日	円	%		%	%
	23,982	—	255.83	—	97.2
7月末	24,990	4.2	266.36	4.1	96.1
8月末	25,681	7.1	273.24	6.8	96.3
9月末	24,886	3.8	268.90	5.1	96.3
10月末	26,190	9.2	287.91	12.5	96.4
11月末	26,669	11.2	289.15	13.0	97.2
12月末	27,883	16.3	301.25	17.8	97.2
2022年1月末	24,047	0.3	258.63	1.1	97.0
2月末	23,862	△ 0.5	256.39	0.2	96.5
3月末	25,812	7.6	270.90	5.9	96.7
4月末	23,425	△ 2.3	241.25	△ 5.7	96.4
5月末	23,936	△ 0.2	245.80	△ 3.9	95.2
6月末	22,426	△ 6.5	232.85	△ 9.0	96.0
(期末) 2022年7月20日	23,644	△ 1.4	242.71	△ 5.1	96.4

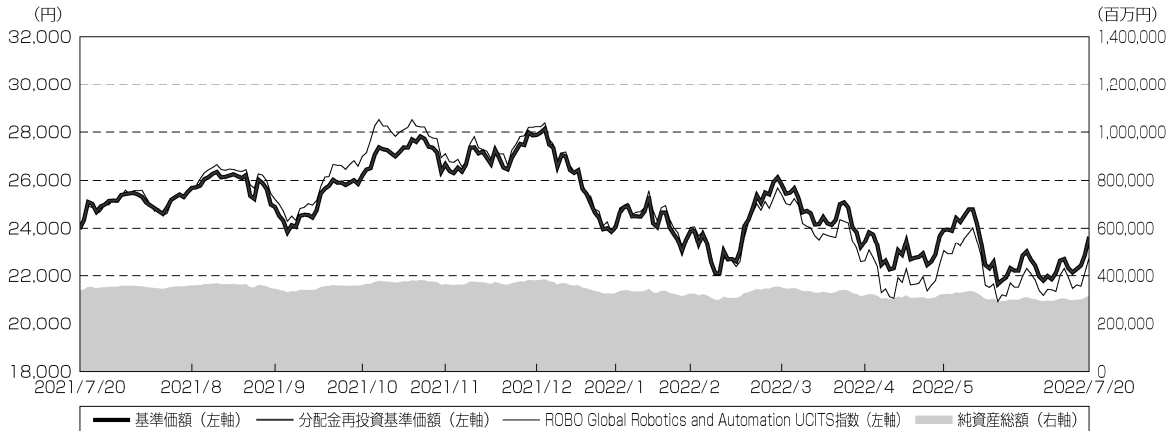
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

（2021年7月21日～2022年7月20日）

期中の基準価額等の推移



期首：23,982円
 期末：23,644円（既払分配金（税込み）：0円）
 騰落率：△1.4%（分配金再投資ベース）

- （注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注）分配金再投資基準価額およびROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、期首（2021年7月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- （注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- （注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・期間の後半を中心に、ディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）なヘルスケア関連株や、石油化学関連の自動化を進めるプロセス・オートメーション関連企業の株価が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・ 中国政府による様々な規制強化の動きを背景に、通信関連銘柄の株価が軟調に推移したこと。
- ・ 米国長期金利の上昇やマクロ経済の先行きに関する懸念を受けて、期間の後半を中心に、半導体関連銘柄の株価が軟調に推移したこと。

投資環境

（株式市況）

当期間前半の世界の株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン接種率の高まりや、好調な企業業績、依然として緩和的な金融政策などが上昇要因となり底堅い値動きとなりました。

ロボティクス関連銘柄の株価は、当初、世界の株式市場の上昇以上に堅調に推移する場面がありましたが、2021年の年末に掛けては伸び悩み、また2022年の年明け以降は大きく値下がりする場面もありました。

当期間後半の世界の株式市場は、総じて下落基調で推移しました。一時的と思われていたインフレが長期化の様相を呈したことで、インフレ抑制を優先しようとする中央銀行の利上げペースの加速懸念が高まったこと、それに伴ない景気後退が意識され始めたことが背景にあります。ロシアによるウクライナ侵攻とそれに対するロシアへの経済制裁もマイナス要因となりました。

ロボティクス関連銘柄の株価も、好調な業績を発表した銘柄が見られたものの、全体的には低調なパフォーマンスとなりました。原材料高騰、金利上昇、それらに伴う景気後退懸念といったマクロ要因が、当ファンドが保有するFA（ファクトリー・オートメーション）関連や半導体関連、電子部品関連などの銘柄のパフォーマンスの足かせとなりました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行なっています。

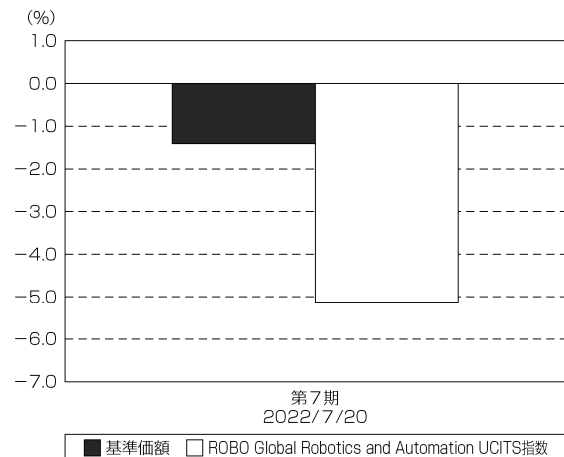
当期間は資本財・サービスセクター、情報技術セクター、ヘルスケアセクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待される資本財・サービスセクターや情報技術セクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

（注）ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期
	2021年7月21日～ 2022年7月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	13,644

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・ロボティクス株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（グローバル・ロボティクス株式マザーファンド）

コロナ禍からの経済活動の回復や、物流の正常化といったポジティブな要因と、急速な利上げとそれに伴う景気後退懸念の台頭や、長期化するロシアとウクライナとの間の問題といったネガティブな要因の相互作用が市場の先行きを不透明なものにしています。

しかし、こうしたマクロ要因による株式市場の調整局面においても、今後の世界を大きく変え得る技術進化は継続しており、将来有望な技術を持つ企業の本源的価値は株価調整とは関係なく上昇しているものと考えています。現在の世界的な株価調整局面は、そうした有望な技術進化の恩恵を受けると考えられる企業に、割安な水準で投資を行なうチャンスと捉えています。

今後の「ウイズ・コロナ」の世界、そして米中覇権争いや新冷戦の世界では、米国などへの生産回帰、人の介在の削減など、今まで以上に自動化・自律化の流れが加速する可能性が大きく高まっていると考えています。これは、ものづくりの世界だけではなく、サービス産業における人手不足解消、医療の高度化・効率化や移動の効率化など、人々の暮らしを改善するために技術活用の動きが加速することを意味しており、投資対象であるロボティクス関連銘柄の中長期的な魅力は、非常に高いと考えています。

大きく変動する市場環境ではありますが、この大きな流れが変わらないなか、短期的な株価変動はむしろ投資機会と捉え、引き続きバリュエーション（株価評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2021年7月21日～2022年7月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	484	1.936	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(234)	(0.935)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(234)	(0.935)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(16)	(0.066)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	2	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.008)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.022	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(1)	(0.004)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	492	1.969	
期中の平均基準価額は、24,983円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

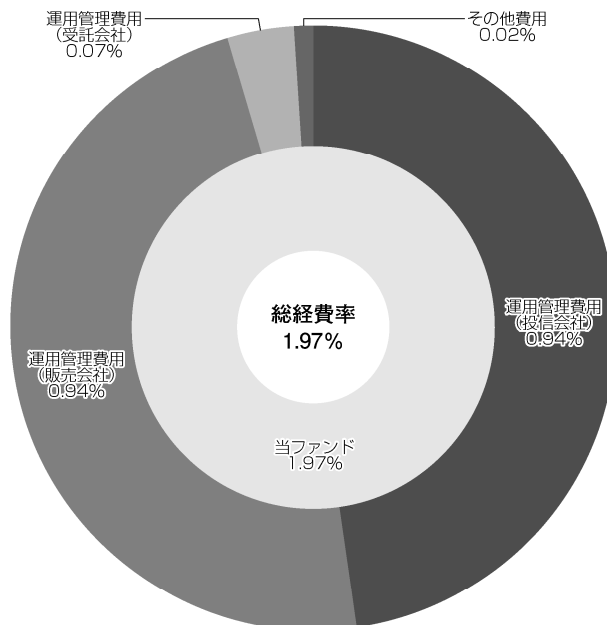
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.97%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月21日～2022年7月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 8,055,987	千円 23,111,869

○株式売買比率

(2021年7月21日～2022年7月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	243,048,386千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	758,035,082千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.32	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月21日～2022年7月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月21日～2022年7月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年7月21日～2022年7月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年7月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	123,828,105	115,772,118	314,842,275

(注) 親投資信託の2022年7月20日現在の受益権総口数は、268,612,176千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド	314,842,275	98.0
コール・ローン等、その他	6,517,820	2.0
投資信託財産総額	321,360,095	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・ロボティクス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（544,192,412千円）の投資信託財産総額（731,479,701千円）に対する比率は74.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=138.17円、1ユーロ=141.60円、1スイスフラン=142.78円、1スウェーデンクローナ=13.55円、1ノルウェークローネ=13.97円、1新台幣ドル=4.6222円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年7月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	321,360,095,927
コール・ローン等	5,596,719,056
グローバル・ロボティクス株式マザーファンド(評価額)	314,842,275,314
未収入金	921,101,557
(B) 負債	3,663,100,033
未払解約金	559,290,810
未払信託報酬	3,083,285,913
未払利息	2,128
その他未払費用	20,521,182
(C) 純資産総額(A-B)	317,696,995,894
元本	134,365,641,333
次期繰越損益金	183,331,354,561
(D) 受益権総口数	134,365,641,333口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,644円

(注) 当ファンドの期首元本額は140,862,505,572円、期中追加設定元本額は15,169,483,860円、期中一部解約元本額は21,666,348,099円です。

(注) 1口当たり純資産額は2.3644円です。

○損益の状況（2021年7月21日～2022年7月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 682,263
受取利息	2,706
支払利息	△ 684,969
(B) 有価証券売買損益	576,450,587
売買益	3,596,134,448
売買損	△ 3,019,683,861
(C) 信託報酬等	△ 6,639,279,049
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 6,063,510,725
(E) 前期繰越損益金	117,244,999,844
(F) 追加信託差損益金	72,149,865,442
(配当等相当額)	(43,218,353,573)
(売買損益相当額)	(28,931,511,869)
(G) 計(D+E+F)	183,331,354,561
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	183,331,354,561
追加信託差損益金	72,149,865,442
(配当等相当額)	(43,246,943,680)
(売買損益相当額)	(28,902,921,762)
分配準備積立金	117,244,999,844
繰越損益金	△ 6,063,510,725

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2021年7月21日～2022年7月20日の期間に当ファンドが負担した費用は1,151,061,610円です。

(注) 分配金の計算過程(2021年7月21日～2022年7月20日)は以下の通りです。

項 目	2021年7月21日～ 2022年7月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	66,086,354,717円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	117,244,999,844円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	183,331,354,561円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	13,644円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2021年7月21日から2022年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・ロボティクス株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2022年7月20日）
（2021年7月21日～2022年7月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2015年8月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されているロボティクス関連企業の株式（預託証券を含みます。）に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<638110>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率	純資産額
	期騰	期中率	期騰	期中率		
	円	%		%	%	百万円
3期(2018年7月20日)	15,521	12.9	164.92	16.0	96.5	1,051,167
4期(2019年7月22日)	15,599	0.5	150.22	△ 8.9	96.5	816,685
5期(2020年7月20日)	19,418	24.5	179.16	19.3	95.9	667,087
6期(2021年7月20日)	27,053	39.3	255.83	42.8	98.0	729,909
7期(2022年7月20日)	27,195	0.5	242.71	△ 5.1	97.2	730,500

(注) ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数は、ROBO Global Partners Ltdが開発した、世界のロボティクス関連等の株式を対象にした指数です。なお、設定時を100として2022年7月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数 (参考指数)		株組入比率
	騰	落率	騰	落率	
(期首) 2021年7月20日	円 27,053	% —		% —	% 98.0
7月末	28,217	4.3	266.36	4.1	97.1
8月末	29,053	7.4	273.24	6.8	97.3
9月末	28,189	4.2	268.90	5.1	97.2
10月末	29,726	9.9	287.91	12.5	97.4
11月末	30,326	12.1	289.15	13.0	98.3
12月末	31,773	17.4	301.25	17.8	98.3
2022年1月末	27,409	1.3	258.63	1.1	98.1
2月末	27,236	0.7	256.39	0.2	97.4
3月末	29,532	9.2	270.90	5.9	97.5
4月末	26,819	△ 0.9	241.25	△ 5.7	97.3
5月末	27,458	1.5	245.80	△ 3.9	96.1
6月末	25,754	△ 4.8	232.85	△ 9.0	97.0
(期末) 2022年7月20日	円 27,195	% 0.5		% △ 5.1	% 97.2

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年7月21日～2022年7月20日)

基準価額の推移

期間の初め27,053円の基準価額は、期間末に27,195円となり、騰落率は+0.5%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

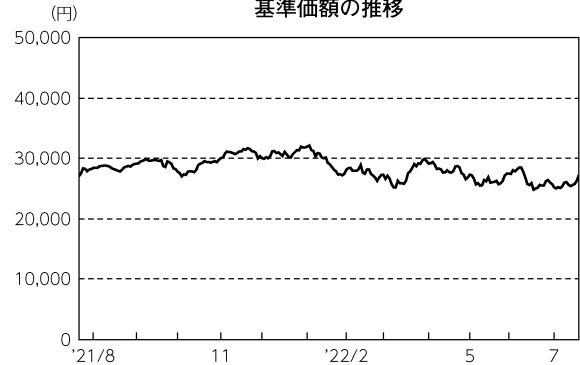
<値上がり要因>

- ・ 期間の後半を中心に、ディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）なヘルスケア関連株や、石油化学関連の自動化を進めるプロセス・オートメーション関連企業の株価が堅調に推移したこと。

<値下がり要因>

- ・ 中国政府による様々な規制強化の動きを背景に、通信関連銘柄の株価が軟調に推移したこと。
- ・ 米国長期金利の上昇やマクロ経済の先行きに関する懸念を受けて、期間の後半を中心に、半導体関連銘柄の株価が軟調に推移したこと。

基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2021/07/20	2022/01/05	2022/06/17	2022/07/20
27,053円	32,086円	24,832円	27,195円

基準価額（指数化）の推移



ROBO Global Robotics and Automation UCITS指数（指数化）の推移



(株式市況)

当期間前半の世界の株式市場は、新型コロナウイルスのワクチン接種率の高まりや、好調な企業業績、依然として緩和的な金融政策などが上昇要因となり底堅い値動きとなりました。

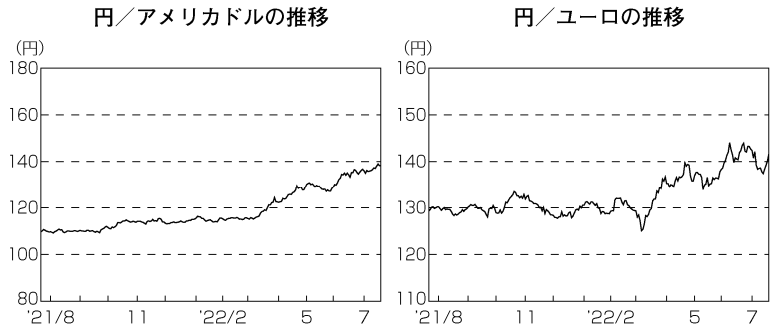
ロボティクス関連銘柄の株価は、当初、世界の株式市場の上昇以上に堅調に推移する場面がありましたが、2021年の年末に掛けては伸び悩み、また2022年の年明け以降は大きく値下がりする場面もありました。

当期間後半の世界の株式市場は、総じて下落基調で推移しました。一時的とされていたインフレが長期化の様相を呈したことで、インフレ抑制を優先しようとする中央銀行の利上げペースの加速懸念が高まったこと、それに伴ない景気後退が意識され始めたことが背景にあります。ロシアによるウクライナ侵攻とそれに対するロシアへの経済制裁もマイナス要因となりました。

ロボティクス関連銘柄の株価も、好調な業績を発表した銘柄が見られたものの、全体的には低調なパフォーマンスとなりました。原材料高騰、金利上昇、それらに伴う景気後退懸念といったマクロ要因が、当ファンドが保有するFA（ファクトリー・オートメーション）関連や半導体関連、電子部品関連などの銘柄のパフォーマンスの足かせとなりました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

**ポートフォリオ**

ボトムアップアプローチにより、大きな変革期にあるロボティクス市場で高い成長が見込まれると考える企業に着目した運用を行なっています。

当期間は資本財・サービスセクター、情報技術セクター、ヘルスケアセクターなどの銘柄を中心に積極的に投資を行ないました。期間中は、好業績が評価されて株価が上昇した銘柄などに消極姿勢で臨んだ一方で、中長期的な成長が期待される資本財・サービスセクターや情報技術セクターの銘柄などに積極姿勢で臨みました。

○今後の運用方針

コロナ禍からの経済活動の回復や、物流の正常化といったポジティブな要因と、急速な利上げとそれに伴う景気後退懸念の台頭や、長期化するロシアとウクライナとの間の問題といったネガティブな要因の相互作用が市場の先行きを不透明なものにしています。

しかし、こうしたマクロ要因による株式市場の調整局面においても、今後の世界を大きく変え得る技術進化は継続しており、将来有望な技術を持つ企業の本源的価値は株価調整とは関係なく上昇しているものと考えています。現在の世界的な株価調整局面は、そうした有望な技術進化の恩恵を受けると考えられる企業に、割安な水準で投資を行なうチャンスと捉えています。

今後の「ウィズ・コロナ」の世界、そして米中覇権争いや新冷戦の世界では、米国などへの生産回帰、人の介在の削減など、今まで以上に自動化・自律化の流れが加速する可能性が大きく高まっていると考えています。これは、ものづくりの世界だけではなく、サービス産業における人手不足解消、医療の高度化・効率化や移動の効率化など、人々の暮らしを改善するために技術活用の動きが加速することを意味しており、投資対象であるロボティクス関連銘柄の中長期的な魅力は、非常に高いと考えています。

大きく変動する市場環境ではありますが、この大きな流れが変わらないなか、短期的な株価変動はむしろ投資機会と捉え、引き続きバリュエーション（株価評価）を重視した運用を今後も継続していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年7月21日～2022年7月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.009 (0.009)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.004 (0.004)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	4 (4) (0)	0.013 (0.013) (0.000)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.026	
期中の平均基準価額は、28,457円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月21日～2022年7月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株 1,948	千円 21,170,603	千株 697	千円 9,206,949
	アメリカ	百株 45,973 (40,052)	千アメリカドル 648,127 (50,061)	百株 22,208 (9,064)	千アメリカドル 625,536 (130,344)
外	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	14,366 (1,536)	63,179 (9,505)	10,846 (768)	75,970 (9,505)
	フランス	752	5,679	2,862	24,083
	オランダ	213	12,270	—	—
国	イギリス	216	千イギリスポンド 199	25,760	千イギリスポンド 25,860
	スイス	3,302	千スイスフラン 10,216	5,293	千スイスフラン 18,057
	スウェーデン	2,099	千スウェーデンクローナ 29,236	43,068	千スウェーデンクローナ 544,076
	ノルウェー	204,607	千ノルウェークローネ 472,743	—	千ノルウェークローネ —
	台湾	34,930 (4,722)	千新台湾ドル 2,124,777 (180,771)	71,498 (1,383)	千新台湾ドル 1,837,689 (81,455)

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年7月21日～2022年7月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	243,048,386千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	758,035,082千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.32

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月21日～2022年7月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年7月21日～2022年7月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2022年7月20日現在)

国内株式

銘柄	当 期 末		
	期首(前期末) 株 数	株 数	評 価 額 千円
機械 (34.6%)			
ディスコ	341.2	349.4	11,075,980
SMC	216.9	227.3	14,601,752
ハーモニック・ドライブ・システムズ	1,172.2	1,200.3	5,689,422
ダイフク	2,084.1	2,148.8	18,522,656
THK	5,169.4	5,293.1	14,608,956
電気機器 (56.4%)			
日立製作所	1,985	2,080.6	14,160,563
安川電機	1,921.053	2,013.653	9,061,438
ソニーグループ	933.9	978.9	11,688,066
キーエンス	492.4	516.1	28,050,035

銘柄	当 期 末		
	期首(前期末) 株 数	株 数	評 価 額 千円
ファナック	647.5	723.6	15,987,942
村田製作所	1,284.8	1,346.6	10,580,236
東京エレクトロン	331.2	347.2	15,658,720
輸送用機器 (6.2%)			
デンソー	944.2	1,506.6	11,627,938
情報・通信業 (2.8%)			
ソフトバンクグループ	889.1	932	5,126,000
合 計	株 数・金 額 18,412	19,664	186,439,706
	銘柄数<比率>	14	14 <25.5%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	期末			
		評価価額				
		外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
DEERE & CO	2,993	2,246	70,001	9,672,150	資本財	
APTIV PLC	5,161	5,410	52,538	7,259,251	自動車・自動車部品	
EATON CORP PLC	7,583	8,910	117,890	16,288,881	資本財	
HONEYWELL INTERNATIONAL INC	4,607	—	—	—	資本財	
MEDTRONIC PLC	5,160	6,787	61,312	8,471,595	ヘルスケア機器・サービス	
PARKER HANNIFIN CORP	3,621	4,722	122,778	16,964,263	資本財	
IQVIA HOLDINGS INC	3,492	3,660	80,724	11,153,749	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
ROCKWELL AUTOMATION INC	6,537	6,851	148,272	20,486,754	資本財	
STRYKER CORP	3,849	4,034	79,609	10,999,707	ヘルスケア機器・サービス	
TERADYNE INC	5,072	5,317	52,761	7,290,026	半導体・半導体製造装置	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,653	2,781	149,341	20,634,463	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TE CONNECTIVITY LTD	3,769	3,950	47,412	6,550,931	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
UIPATH INC - CLASS A	—	10,153	19,160	2,647,352	ソフトウェア・サービス	
AMAZON.COM INC	284	5,958	70,429	9,731,246	小売	
ANALOG DEVICES INC	6,692	7,014	113,248	15,647,494	半導体・半導体製造装置	
ANSYS INC	2,926	3,067	76,038	10,506,306	ソフトウェア・サービス	
APPLIED MATERIALS INC	9,986	10,467	102,825	14,207,425	半導体・半導体製造装置	
ASPEN TECHNOLOGY INC	9,022	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
ASPEN TECHNOLOGY INC	—	3,807	68,107	9,410,450	ソフトウェア・サービス	
AUTODESK INC	2,258	3,839	70,930	9,800,514	ソフトウェア・サービス	
COGNEX CORP	10,170	14,835	69,699	9,630,344	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ALPHABET INC-CL C	905	603	6,915	955,496	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL C(N)	—	11,463	131,392	18,154,432	ソフトウェア・サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC	2,380	7,484	160,487	22,174,533	ヘルスケア機器・サービス	
IPG PHOTONICS CORP	3,501	10,417	102,764	14,199,024	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	5,824	12,210	78,778	10,884,883	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	2,787	8,624	146,550	20,248,891	半導体・半導体製造装置	
NXP SEMICONDUCTORS NV	3,772	3,954	67,398	9,312,510	半導体・半導体製造装置	
PTC INC	5,472	5,311	57,143	7,895,505	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	5,897	6,181	91,097	12,586,921	半導体・半導体製造装置	
SPLUNK INC	2,747	3,888	38,655	5,340,984	ソフトウェア・サービス	
SYNOPSYS INC	3,914	2,590	83,807	11,579,686	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	8,098	8,488	51,678	7,140,423	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ZEBRA TECHNOLOGIES CORP-CL A	1,361	2,582	80,552	11,129,999	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
SAMSUNG ELECTR REG S-GDR	780	424	49,905	6,895,467	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額	143,290	198,044	2,720,211	375,851,672	
	銘柄数<比率>	32	33	—	<51.5%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
CONTINENTAL AG	3,777	—	—	—	—	自動車・自動車部品
INFINEON TECHNOLOGIES AG	32,238	42,665	103,677	14,680,672	半導体・半導体製造装置	
KION GROUP AG	3,817	—	—	—	—	資本財
SIEMENS AG-REG	6,108	7,565	80,024	11,331,450	資本財	
小計	株数・金額	45,941	50,230	183,701	26,012,123	
	銘柄数<比率>	4	2	—	<3.6%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	30,534	29,113	110,994	15,716,809	ソフトウェア・サービス	

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
(ユーロ…フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
SCHNEIDER ELECTRIC SE		14,820	14,130	171,176	24,238,525	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	45,354	43,243	282,170	39,955,335	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	2	—	<5.5%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV		802	1,015	49,237	6,972,064	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	802	1,015	49,237	6,972,064	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.0%>	
ユ ー ロ 計	株 数 ・ 金 額	92,098	94,489	515,109	72,939,522	
	銘 柄 数 < 比 率 >	7	5	—	<10.0%>	
(イギリス)				千イギリスポンド		
BLUE PRISM GROUP PLC		16,473	—	—	—	ソフトウェア・サービス
OCADO GROUP PLC		9,069	—	—	—	食品・生活必需品小売り
小 計	株 数 ・ 金 額	25,543	—	—	—	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	—	—	<—%>	
(スイス)				千スイスフラン		
ABB LTD-REG		83,863	81,872	222,038	31,702,609	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	83,863	81,872	222,038	31,702,609	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<4.3%>	
(スウェーデン)				千スウェーデンクローナ		
HEXAGON AB-B SHS		131,350	90,381	1,012,726	13,722,441	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小 計	株 数 ・ 金 額	131,350	90,381	1,012,726	13,722,441	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	—	<1.9%>	
(ノルウェー)				千ノルウェークローネ		
AUTOSTORE HOLDINGS LTD		—	204,607	338,113	4,723,444	資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	—	204,607	338,113	4,723,444	
	銘 柄 数 < 比 率 >	—	1	—	<0.6%>	
(台湾)				千新台幣ドル		
AIRTAC INTERNATIONAL GROUP		29,780	31,903	2,871,291	13,271,684	資本財
HIWIN TECHNOLOGIES CORP		65,212	—	—	—	資本財
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC		21,910	51,770	2,541,907	11,749,202	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額	116,902	83,673	5,413,198	25,020,886	
	銘 柄 数 < 比 率 >	3	2	—	<3.4%>	
合 計	株 数 ・ 金 額	593,047	753,068	—	523,960,576	
	銘 柄 数 < 比 率 >	46	43	—	<71.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年7月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 710,400,283	% 97.1
コール・ローン等、その他	21,079,418	2.9
投資信託財産総額	731,479,701	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(544,192,412千円)の投資信託財産総額(731,479,701千円)に対する比率は74.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=138.17円、1ユーロ=141.60円、1スイスフラン=142.78円、1スウェーデンクローナ=13.55円、1ノルウェークローネ=13.97円、1新台幣ドル=4.6222円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年7月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	732,396,607,263	
コール・ローン等	20,832,564,032	
株式(評価額)	710,400,283,046	
未収入金	920,000,000	
未取配当金	243,760,185	
(B) 負債	1,896,360,148	
未払金	916,905,458	
未払解約金	979,454,437	
未払利息	253	
(C) 純資産総額(A-B)	730,500,247,115	
元本	268,612,176,627	
次期繰越損益金	461,888,070,488	
(D) 受益権総口数	268,612,176,627口	
1万口当たり基準価額(C/D)	27,195円	

(注) 当ファンドの期首元本額は269,805,699,712円、期中追加設定元本額は27,309,487,047円、期中一部解約元本額は28,503,010,132円です。

(注) 2022年7月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(年2回決算型) 140,246,811,557円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(1年決算型) 115,772,118,152円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型) 6,193,769,666円
- ・グローバル・ロボティクス株式ファンド(為替ヘッジあり・年2回決算型) 5,742,040,588円
- ・グローバル・メガピース 657,436,664円

(注) 1口当たり純資産額は2.7195円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2021年7月21日から2022年7月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

○損益の状況 (2021年7月21日～2022年7月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	7,466,397,347	
受取配当金	7,458,100,308	
受取利息	297	
その他収益金	9,195,975	
支払利息	△ 899,233	
(B) 有価証券売買損益	337,373,443	
売買益	138,319,609,466	
売買損	△137,982,236,023	
(C) 保管費用等	△ 121,683,282	
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,682,087,508	
(E) 前期繰越損益金	460,103,306,511	
(F) 追加信託差損益金	49,394,943,110	
(G) 解約差損益金	△ 55,292,266,641	
(H) 計(D+E+F+G)	461,888,070,488	
次期繰越損益金(H)	461,888,070,488	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。